

# 明治村 だより



早春号  
Vol.6

平成九年二月二十八日発行(季刊)

明治村だより 第六号



製作  
求龍堂

平成九年二月二十八日発行  
『明治村だより』第六号(平成九年早春)  
発行  
博物館明治村  
愛知県大山市大字内山二番地  
電話(〇五六八)六七〇三三四 千四八四  
東京事務所  
東京都千代田区紀尾井町三三三  
文藝春秋ビル新館七階  
電話(〇三三)三二六三三五五六 千〇一一

『明治村だより』  
第七号(平成九年春発行のお知らせ)  
発行時期 平成九年四月(予定)  
申込方法 『明治村だより』第七号ご希望の旨及び  
ご住所・お名前を明記の上、送料一九〇  
円分の切手とともに封書にてお申し込  
み下さい。

表紙 楊洲周延画 梅花満開之図(部分)  
特別展示「錦絵でみる明治の風俗より」

目次

再現、明治の室内	2
石井県令と三重県の鹿鳴館時代 吉村利男	6
うし年郷土玩具展	10
春の特別企画 明治村 文明開化百景	13

## 西郷従道邸

〈重要文化財〉



ソファ(西郷従道邸応接室)



西郷従道邸 食堂

# 再現、明治の室内



西郷従道邸 書斎



西郷従道邸 寝室



西郷従道邸 婦人室

## 長崎居留地二十五番館



長崎居留地二十五番館 食堂



長崎居留地二十五番館 居間



西郷従道邸 居間



西郷従道邸 応接室

前号でお知らせしました西郷従道邸、三重県庁舎、帝国ホテル中央玄関、長崎居留地二十五番館とともに、秋以降新たに内部を整備しました聖ヨハネ教会堂、日本赤十字社中央病院病棟ほかも併せてご紹介いたします。明治村では、実際に使っていただけでなく、建物の良さをより身近に知っていただけるよう、春以降もレンガ通りの建物を中心に建物内部の再現や活用を進めてゆきます。



1階

### 聖ヨハネ教会堂〈重要文化財〉

これまでの二階礼拝堂の再現に加え、一階も本来の用途であった幼稚園の雰囲気に模様替え。迎賓館で使われた六十畳もの広さの緞通も利用し、子どもたちが自由に楽しめる広場として活用することにしました。

### 日本赤十字社中央病院病棟

日本赤十字社の病院で用いられていたベッドや床頭台を中心に病室を再現したほか、野外の医療活動用の組立式ベッドや担架なども実際に使っていただけよう整備しました。



病室



書斎

### 学習院長官舎

実際に使われていた家具類などにより、洋館一階の応接室と書斎を創建時の院長・乃木希典にふさわしい質素な中に重厚さを備えた雰囲気に再現しました。

(建物の構造上、外からの見学のみとなります)



写場

### 高田小熊写真館

採光用のガラス張りの屋根をもった二階の写場を、書割やしゃれた高級椅子で再現、新たに内部公開を始めました。当時の雰囲気そのままに記念撮影も楽しめます。

### 帝国ホテル 中央玄関



フロントカウンター



1階エントランスホワイエ、ロビー 2階ティーバルコニー



ラウンジ



ラウンジ





平成九年の干支は「うし」です。「牛の歩み」などという言葉があるようにその動きはゆっくりしていますが、荷物の運搬、耕作、食用など人類にとって大変有用な動物です。

牛は世界各地の宗教・農耕に深く関わっています。各地の遺跡に牛の信仰に関する品が残っていますし、牛を穀神とする中国の信仰が日本に入ってきたとする説もあります。古代の農耕社会では牛は農耕に必要な役畜でしたので食べることは避けられており、重要な儀礼のときにいけにえとして捧げられることがありました。

一方、牛とならんで馬もまた農耕や荷物運搬の重要な担い手でありよく対比されますが、一般に「東の馬、西の牛」といって、東日本では農耕などに馬を使用することが多く、西日本では牛をよく使用するという地域差が見られました。動物に対する信仰においてもこの地域差があてはまり、西日本においては祭礼行事に関連する牛の玩具が多く見られます。

今回は館蔵の故竹尾藤市氏コレクションの中から牛に関連する郷土玩具約一二〇点を展示します。牛に込められた豊作への祈りや病除けなどさまざまな願いを感じとっていただければ幸いです。

ここで今回展示する特徴的な玩具をご紹介します。



黄金牛(岩手県花巻市)



牛乗り子供天神(青森県青森市)

# うし年 郷土玩具展

三月三十一日まで開催  
三重県庁舎二階特別展示室



赤ペコ(福島県会津若松市)



牛乗り天神(福島県)

## 俵牛

牛の郷土玩具で多いものに俵牛があります。牛が背中に米俵を積んでいるもので、五穀豊穣と牛への加護の祈りが込められています。張子のは首振りになっており、愛嬌のある表情をしています。また、古くから道路が整備されていた京都では、車で俵を運ぶ「車曳き牛」があり、金を産出していた花巻の「金ペコ」は、俵の代わりに千両箱を積んでいます。

## 牛乗り天神

天神様といえは今では菅原道真公のことを指しており、学問成就の神様となっています。天神とはもともと国津神に対する天津神として信仰され、各地に天神社がありました。しかし、菅公の死後京都で起こった怨霊さわぎが北野天神に菅公を祀ることで鎮まったので、天神＝菅公であるとの認識が生まれ、それと同時に古くから北野にある雷神信仰と結びつき、その信仰が全国に広がりました。雷は神の怒りとして恐れられる一方、農耕に必要な雨をもたらすものと考えられていました。雷が農耕と関連するのは、稲光、稲妻という言葉からも類推されます。よって天神は天候を司る農耕神としての性格も合わせ持っていました。菅公が文芸に秀でていたため天神様は学問の神様という信仰が生まれましたが、これが広まったのは学問をよ



善光寺薬牛(長野県長野市)



木牛(新潟県小千谷市)



俵牛(愛知県半田市)

り必要とする都市でのことであり、農村では長く農耕神としての天神様が信じられていました。

菅公が丑年生れであり、命日が丑の日であったことや、菅公の遺体を載せた牛車が後に太宰府天満宮となる地にとどまって動かなかった話などから、牛は天神様のお使いとされました。しかしそこには中国で牛が穀神であったことの影響や、農耕神である天神に牛を守ってもらいたいという気持ちも込められていたのでしょうか。

## 病除け

牛は草を食うところから、腫れ物(瘡)をなおすまじないにも用いられました。和歌山の城下町の瓦職人が作り始めたものといわれている「瓦牛」は、市内の深草神社(通称瘡神さん)に奉納されている牛を借り、それで

腫れ物を撫で、治ったら新しい一体を添えて神社に奉納するものです。

また、会津若松で作られている「赤ペコ」は、柳津の福満虚空蔵の堂宇建立の際、赤牛が現れ用材運搬に協力し、完成すると堂の前で石となったとい

〈春の特別企画〉

# 明治村 文明開化百景

食べて、遊んで、一日まるごと明治人

3月20日(祝)～5月5日(祝)

\*天候などの都合により変更・中止する場合がありますので、詳細については事前にお問い合わせ下さい。

明治村では昨年から明治の住空間を体験していただけるよう、室内の再現やその活用を進めてきました。今回の春の特別企画では建物内部の整備だけにとどまらず、明治の味覚や衣裳、道具、乗り物、遊びなど、明治の生活全般を追体験していただけるよう、多くの催しを用意しています。

## 明治村レンガ通りをリニューアル

明治村の中心部にあたるレンガ通りの建物内部を次のとおり整備します。

### 札幌電話交換局 重要文化財

明治の電話機、交換機を修復し、実際に通話や交換業務が体験できるようにするなど、内部展示を全面的に模様替えします。

### 安田銀行会津支店

店舗を当時の姿に再現するほか、カウンター内では内部空間をじっくり味わえるよう、喫茶の提供(有料)も行います。

### 京都中井酒造・東松家住宅 重要文化財・清水医院

室内の再現を拡充するとともに、建物の良さがより身近に感じられるよう、一階部分には自由が上がるようにします。



東松家住宅

### 東山梨郡役所 重要文化財

建物のもつ特性を十分に活かし、展望休憩室を備えたギャラリーに模様替えします。期間中は「近岡善次郎 明治の西洋館スケッチ画展」を開催します。

### 第四高等学校物理化学教室

ブラインドの修復を中心に階段教室の再現をさらに充実させるとともに、講習会、講演会などにも利用できるよう整備します。

### 千早赤阪小学校講堂

矢場、射的、輪投げなど、懐かしい屋内の遊びが楽しめる場として活用します。



探景画 東京名所浅草金龍山遠景新開池之図

## 特別展示

### 「錦絵でみる明治の風俗」

#### 三重県庁舎

文明開化の様相や四季の遊びを描いた錦絵、風俗画報を約80点展示、明治の人々の生活を紹介します。

う伝説から作られました。七夕の夜に織女がこれに乗ってくるといわれます。昔、疱瘡にかかった子供にこれを贈ったところ治ったといわれ、疱瘡除けのまじないや子育ての縁起物として用いられました。疱瘡とは天然痘のことで、現在ではWHOによって根絶宣言がなされていますが、当時は感染力が強く、しかも死亡率が高く治っても顔にあばたを残すため大変恐れられた病気でした。疱瘡神は赤い色を嫌うと考えられていましたので、赤ペコ等子供がもてあそぶ小さな人形に赤の彩色を施し疱瘡除けを願いました。

## 行事・祭礼

牛は身近な動物のためさまざまな行事・祭礼にも登場します。

新潟県小千谷市では昔から地域の娯楽として闘牛が行われていましたが、その闘牛を子供の遊び用にアレンジしたのが「木牛」です。子供達はこの木牛を突き合わせて闘牛遊びをし、大きい木牛にはまたがって引き回しました。郷土玩具はその土地に産する材料を用いて作られており、この木牛からも木材が豊富にある土地柄が察知されます。また、愛媛県宇和島市では祭礼に登場する「牛鬼」という怪物が玩具になっています。この牛鬼は豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に、軍の先頭に立つて勝利に導いた動物だったといわれています。



宇和島の牛鬼(ブーヤレ) (愛知県宇和島市)



牛乗り天神(滋賀県五箇荘町)



車曳き牛(京都市)



瓦牛(和歌山県和歌山市)

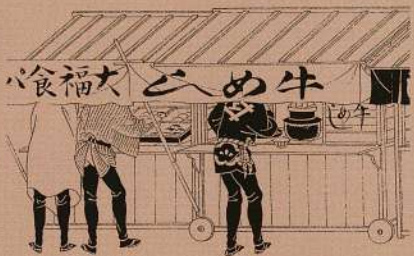


牛乗り童子(香川県高松市)

### 明治の味を再現

明治の洋食屋「浪漫亭」開店(有料)  
軽食堂を改装、明治のレシビをもとにタンシチュー、ミートコロッケ、カレーライスなどを再現し、提供します。  
※期間中は、明治村食堂でも明治の洋食がメニューに加わります。

明治の屋台開設(有料)  
第四高等学校武術道場「無声堂」横広場当時の雰囲気そのままに天ぷら、おでん、きつね寿司、焼き芋など二十品程度を販売します。



明治の高級料理セミナー(要予約 有料)

4月の土曜日  
第四高等学校物理化学教室  
明治時代のベストセラー「食道楽」などのメニューを再現、講演とともに試食も楽しめます。

子ども料理教室(要予約 有料)  
3月22日(土)、29日(土)  
三重県庁舎

明治のレシビによる簡単な料理づくりが体験できます。

明治の病院食・監獄食・軍隊食体験

(要予約 有料)  
土・日・祝日 各日1種類  
日本赤十字社中央病院ほか  
当時のメニューやレシビなどにより再現、珍しい食事体験が楽しめます。

### 変身、私も明治人

明治衣裳貸出し(有料)  
皇宮警察署別館1ハイカラ写真館  
貴婦人や女学生、書生などの衣裳で、身も心も明治の人になりきっての村内散策が楽しめます。



ウエディングドレスで記念撮影(有料)  
聖サビエル天主堂  
ステンドグラスの光あふれる教会で、大人も子どもも花嫁気分を味わえます。

### 明治なんでも体験

懐かしい屋外の遊びを楽しもう

清水医院横広場  
明治の路地裏を再現、たが廻しや竹馬、羽根つき、ペーゴマなどで遊べます。

懐かしい屋内の遊びを楽しもう(有料)  
土・日・祝日 千早赤阪小学校講堂

懐かしい大道芸を楽しもう

土・日・祝日 札幌電話交換局横  
3月22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)には「のぞきからくり」が登場します。

大凧上げを楽しもう

土・日・祝日のうち数日  
第四高等学校武術道場「無声堂」横芝生広場

明治村の桜を楽しもう

3月末～4月上旬

明治の自転車に乗ってみよう(有料)  
第四高等学校武術道場「無声堂」横芝生広場  
オーデイナリ型と呼ばれる前輪の大きな自転車の乗り心地を体験できます。



気球に乗ってみよう(有料)

3月20日(祝)、22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)、4月6日(日)、12日(土)、13日(日)、20日(日)、27日(日)  
第四高等学校武術道場「無声堂」横芝生広場  
明治の人たちがあこがれた気球に乗って、空からの明治村の眺めが楽しめます。



明治の人力車に乗ってみよう(有料)

日・祝日

京都七條巡査派出所前―東山梨郡役所前

明治のSLの運転台に乗ってみよう

土・日・祝日及び3月24日～4月4日の午前中 S.L名古屋駅

木製カメラで撮影しよう(有料)

皇宮警察署別館ほか



明治の蓄音機やオルゴールを聴いてみよう

聖ヨハネ教会堂

修復した蝋管蓄音機や大型オルゴールで、明治の音が楽しめます。

懐かしいおもちゃをつくって遊ぼう(有料)

日・祝日

第四高等学校武術道場「無声堂」

ガラスを使って工作しよう

(有料)

日・祝日  
工部省品川硝子製造所

色ガラスでアクセサリをつくろう

(有料)

第4火曜日

工部省品川硝子製造所

明治村の樹木で布を染めよう(有料)

土曜日

工部省品川硝子製造所

明治の機で布を織ろう

日曜日 工部省品川硝子製造所

明治村日本庭園(通常非公開)で野点を楽しもう(有料)

4月27日～5月5日の日・祝日

明治の建物で抹茶を楽しもう(有料)

3月20日～4月13日の日・祝日

西園寺公望別邸「坐漁荘」

### その他の春催事

卒業メモリアル

3月1日(土)～3月31日(月)

袴姿の女子卒業生は入場無料。  
小学校・中学校・高校・短大・大学の卒業対象者は入場料半額。

### 春の明治村ファミリージョギング

(有料)

3月9日(日)・16日(日)

豊かな自然の中を楽しく走って、さわやかな汗を流せます。

明治村剣道大会

4月13日(日)

第四高等学校武術道場「無声堂」  
全国から選ばれた八段の範士・教士32人が内閣総理大臣杯を争います。

明治村茶会

4月22日(火)・23日(水)

坐漁荘席 京都・北村美術館  
無声堂席 本多静雄氏(百寿記念)  
日本庭園・野点席 高取味楽齋・楽山齋  
会員以外の方は、事前に茶会券(有料)をお求めの上、23日にご参加下さい。



明治の電話機でお話ししよう  
札幌電話交換局

明治の教会で音楽を聴こう

4月6日(日)・20日(日)・27日(日)

聖サビエル天主堂

